

和州赤羽根之産最佳、丹後山城次之豊後肥後爲劣、藥肆以團者稱川芎、以稍長者稱芎藭者、不識名義之甚者也。

〔重修本草綱目啓蒙〕九草芎藭 オムナカヅラ式延喜 ウシクサ丹後、牛ノ諸病ヲ治ス故ニ名ク 一名川元蘇耕

錄 几元蘇樂譜 蛇休草採取月令 蛇避草同上 蕪藭群芳譜 壺藭山海經廣註 藥芹江南通志

俗ニ川芎ト云、卽和漢通名ナリ、蜀ノ川州ヨリ出ル者上品ナリ、故ニ川芎ト云、舶來ノモノ上品ニシテ僞物ナシ、和産ニ大葉小葉ノ二品アリ、藥ニハ小葉ノ者ヲ用ユ、大和ニ多ク栽ユ、葉ハ夏ノ芹葉ニ似テ枝多シ、莖葉トモニ淺綠色ニシテ香氣多シ、秋月花實アリ、形狀當歸ニ同ジ、苗高サ一、二尺ニ至ル、此根雀頭ノ大サアリ、形モ似タリ、故ニ釋名ノ下ニ雀腦芎ト云フ、大和ノ産ハ舶來ニ同ジ、氣烈シクシテ白色微黃ナリ、年ヲ經テ黃色トナル、年ヲ經タルヲ良トス、豊後及奥州仙臺ヨリ出ル者ハ下品ナリ、豊後ハ自然生ナリ、根ノ色黒赤ヲ帶ブ、又丹後ニモ自生アリ、大葉川芎ハ苗最大ニシテ、小葉ノ者ニ異ナリ、葉ハ白芷葉ノ如ニシテ狹長ナリ、一葉ノ長サ二尺餘、濶サ一尺餘、苗高サ五六尺許ニシテ莖フトシ、花實ハ白芷ト同ジ、根ハ大ニシテ小塊ヲ連珠ス、此形狀ヲ象ドリテ、釋名ノ下ニ馬銜芎藭ト云フ、藥ニ入ル、ニ堪ヘズ、藥舖ニ此ヲ川芎様ノ藁本ト稱シ、貨ル、藁本ノ僞物ナリ、又藥舖ニ角川芎ト云モ有リ、小葉川芎ノ根ニ著タルフトキ鬚ヲ取タルナリ、

藪蕪 増、一名王孫草事物異名 麋蕪本草逢原

川芎ノ葉ナリ、小葉芎藭ノ葉ヲ用ユベシ、

〔廣益地錦抄〕六川芎 宿根より春生、葉切れこみ多く、莖たちのび、夏のすゑ秋白花さく、時珍の胡荽に似たりといふがごとく、胡荽より葉あつく大キシ、草にふし有てふとし、葉の香氣甚ありて一叢うゆるに遠くかほる、不斷風なき時をかほる事、藥種にきざみたるがごとし、植てながめ有

〔農業全書〕十藥種之類、川芎